



10/31 3期目の町政スタート 清水町長初登庁

10月11日告示の愛南町長選挙で無投票再選された清水雅文町長が3期目の任期初日となる31日、役場本庁に初登庁しました。

登庁後、課長補佐級以上の職員約80名を前に「初心を忘れず、謙虚に町民の声に耳を傾け、引き続きバランスの取れた町政運営を行っていききたい。これからの4年間、全力で走っていくので、職員も町民のために共に歩んでほしい」と就任のあいさつを行いました。

10/2 楽しみながら防災知識高めよう

B&G 海洋センター屋内運動場で「第9回愛南町連合婦人会 防災なかよし運動会」が開催されました。参加した婦人会員約80名は、リュックに非常持ち出し品を詰める競争などを行い、楽しみながら防災の知識を高めました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.73

「助六の大掃除」



スケロクウミタケハゼ

年末の恒例行事として、大掃除をする家庭も多いだろう。家中をきれいにして、気持ちよく新年を迎えたいものである。

家の中をきれいになりたいのは、どうやら人も魚も同じようである。スケロクウミタケハゼは、住み家のサンゴをきれいに掃除して、自分の居場所を作っている。サンゴのポリプも邪魔になるらしく、すっかり取り除いてしまい、白い骨格が見えている。

スケロクを漢字で書くと助六となる。これは、歌舞伎の主人公の名前である。魚の名前を付けた学者さんには、大きな目と赤い模様が、助六の顔に見えたのだろう。

助六は、羽子板や凧に描かれ、正月の飾りにも使われている。今月号の写真は、スケロクとサンゴで、なかなか縁起が良さそうである。正月には、この写真を飾って祝うことにしよう。

(撮影地：瀬ノ浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照^{ともてる}

10/15 「シルバーの日」 清掃奉仕活動



城辺みしま荘敷地内で、愛南町シルバー人材センターの会員による清掃奉仕活動が行われました。

この活動は、10月第3土曜日の「シルバーの日」に毎年行われています。今年では会員・事務局員22名が参加し、草刈や草引き、剪定、落ち葉清掃など、2時間にわたり熱心に作業が行われ、施設周辺はすっかりきれいになりました。

10/18 バスの乗り方教室を開催しました

路線バスなどの地域公共交通に親しんでもらうことを目的に、御荘 B&G 海洋センターでバスの乗り方教室が開催されました。

この教室には、平城小学校2年生児童52名が参加し、バスの乗り方や車内でのマナーのほか、交通安全について学習しました。バスに乗ったことがない児童もいて、実際に整理券を取り、運賃の支払いをする乗車体験の際には、運転手や職員の説明に熱心に耳を傾けていました。たくさんの人が利用するバスで、大きな声で騒いではいけないことや、高齢者や妊娠をしている人には席を譲ることなど思いやりの大切さも学びました。



10/21 ハロウィンで盛り上がる夏祭り



御荘平山の御荘診療所敷地内で「御荘診療所夏祭り」が行われました。

「御荘病院夏祭り」は毎年8月上旬に開催されていましたが、今年は敷地内の工事の影響で2か月遅れ、名前も施設の名称変更に合わせて「御荘診療所夏祭り」に改めて開催されました。

今年のテーマはハロウィン。会場は思い思いの衣装をした親子連れやスタッフで賑わいました。友達に誘われて初めて参加したという加納璃乃さんは「いろんなボランティアができて楽しかった。来年もまた参加したい」と笑顔で話しました。

10/24 中学生がオーストラリアでの海外研修を報告



8月9日から18日の間、町内の中学生14名がオーストラリアで海外研修を行い、その報告会が愛南町役場本庁舎で行われました。

この研修は、町教育委員会が主催する事業で、中学生がオーストラリアの家庭にホームステイし、現地の学校で現地の中学生と交流したり、日常生活を通じて異文化を体験し、国際交流への理解を深めることを目的として実施しています。

研修に参加した中学生は「英語の必要性を感じ、英語学習への取り組み方が変わった」「日本文化が広く受け入れられて驚いた」などと報告し、成長した姿を見せました。

10/26 一本松中1年生がバックホウ操作体験

一本松中学校の1年生34名が、国土交通省と町防災教育推進懇談会が行う防災教育授業を受けました。これは、南海トラフ地震や大規模な自然災害に対して世代間で知恵や公的精神、技能を継承していく「防災文化」を作ろうと実施されたもので、生徒は座学で地震発生のメカニズムや土砂災害への備えについて学び、国道56号線増田視距改良事業が行なわれている工事現場に移動してブロック積みや増田川に架かる橋の橋台を見学した後、バックホウの操作を体験しました。



羽田皐太くん（13歳）は「バックホウの操作は、簡単に見えたけど、実際にはとても難しかった。操作している人はすごいと思った。座学では、土砂災害が起きる前兆や地震が起きたときの対応について教えていただいたので、これから意識して生活したい」と話しました。

10/29 大物を求めて各地から太公望が集結



西日本屈指の磯場を有する西海・内海の海域で「あいなん磯釣大会2016」が開催されました。町内はもとより、遠くは大阪府や兵庫県などから総勢207名が参加し、大物を求めて磯に渡りました。

本大会は、グレの部、石鯛の部、他魚の部があり、釣った魚の長寸で競います。37.6cmのイシガキダイを釣り上げ、石鯛の部で優勝した岩村真規子さん（中川）は「これまでの大会にもほとんど出場している。磯釣りの魅力は魚の大きさや引きの強さ。とても楽しかったので、これからも出場し続けたい」と話しました。

10/29 すっごく高い木の上へ

山出憩いの里温泉周辺で「第6回ワクワク体験教室～すっごく高い木にのぼろう～」が開催されました。町内の小学校1～3年生19人が参加し、自分の背丈の何倍もある高い木に登って、上からの景色を楽しんでいました。

参加した子どもたちは「おもしろかった」「高いところまで登れて自信になった」と感想を話しました。



10/30 須ノ川地区で五穀豊穰を祈願してお伊勢踊り



須ノ川地区の若宮神社で、五穀豊穰・無病息災を祈願してお伊勢踊りが行われました。かつては7歳の男子7人が厳選されて踊っていましたが、児童の減少で現在は須ノ川地区の小学生が踊り子を担っています。

7人の踊り子たちは、紺の着物を着て、頭に花冠、手に御幣を捧げて大人の謡と太鼓などの囃子に合わせて、ゆっくりと厳粛に踊りました。

11/5～6 なーしくん躍進！ ゆるキャラグランプリで全国36位に！

四国で初めての開催となる「ゆるキャラグランプリ 2016in 愛顔のえひめ」が松山市で開催されました。愛南町からエントリーしていたなーしくんは、総合1,421体中36位、県内では49体中5位の好成績を収め、全国に愛南町をPRしました。

ゆるキャラグランプリは「ゆるキャラで地域を元気に」することを目指して、2011年にはじまったゆるキャラの頂点を決める大会です。過去にはくまモンやいまばりバリィさんがグランプリを獲得しています。イベント期間中は約200体のゆるキャラを一目見ようと5万人を超える来場者が会場を訪れました。

